

第 2 期「学ぶ土台づくり」推進計画策定パブリックコメント意見受理状況

- 実施期間 平成26年12月15日（月）～平成27年1月14日（水）
- 意見受理状況 1 個人 6 団体 （27 件）

◆ パブリックコメント ◆

<ul style="list-style-type: none"> 1 個人 <ul style="list-style-type: none"> ① A. S（登米市） 2 各関係機関 <ul style="list-style-type: none"> ① 宮城県国公立幼稚園協議会 ② 宮城県小学校長会 3 市町村・市町村教育委員会より <ul style="list-style-type: none"> ① 石巻市教育委員会 ② 名取市教育委員会 ③ 大崎市教育委員会 ④ 七ヶ浜町生涯学習課

提出者	主 な 意 見 の 内 容
個人	○幼・保・小連携について、学校として考えるべきものとは思いますが、それぞれの立場で互いを理解しながらよい連携を図っていければと思う。
国公立幼稚園協議会	○第1期からの継続性・発展性・普及性が期待できる推進計画であってほしい。 ○「親育ち」講座について、内容、体制をより充実させ、気軽に身近なものの提供を期待したい。 ○目標指標は現実的なものと受け止められる。今後の数値に関心を持ち、見ていきたい。 ○「特別支援」に関する研修の具体的な充実策について期待したい。
小学校長会	○幼児期の「学ぶ土台づくり」は、今後の宮城県を担う人間づくりの基礎となることなので、最終案に示される予定の計画推進がたいへん重要なものと考えます。 ○計画推進のカギは、幼児期を支える家庭（親）という部分への浸透を図らなければならないものだと思う。保健福祉部などの働きかけなどが重要で、宮城県としての推進を図らなければ大きな成果につながらないと危惧している。県民運動にというものに仕上がってほしいと願う。
石巻市	○施策に家庭でできる取組が明記されているので、家庭でも取り掛かりやすい。 ○推進計画を県民にどのように普及し、推進していくかが課題と考える。
名取市	○「第1章 本県幼児教育の目指す姿 2 計画の目標」において「保護者が子どもを愛し、大切に世話をすること」について、子育て・親育ちの根幹になる考えなので、このことに賛成である。（他、多数最終案に盛り込む内容を提示いただいた。）
大崎市	○「親子間の愛着形成の促進を図るために家庭でできる取組」「基本的な生活習慣の確立を図るために家庭でできる取組」「豊かな体験による学びの促進を図るためにできる取組」が記載されたことにより、「目指す子どもの姿」の実現に向けた具体的な取組の促進が図れると思う。 ○「第4章 施策の展開 1 施策の全体体系」において、「施策」と「具体的な取組」との関わりをクロスさせ、取組の効果が1つの施策にとどまらないという表し方をしたことにより、本計画が家庭、地域社会、教育現場、行政の関係する主体がそれぞれの役割を的確に果たすことを示している。
七ヶ浜町	○幼年期から青年期まで系統性をもたせた事業の計画をしていくと、今実施している事業の効果がより高まるのではと思う。 ○実践例等を紹介していただき、ぜひ参考にさせていただきたい。

